

## R7 多様な働き方実践企業認定制度事業者向けPR動画

### 【ナレーション】

「企業も、人も、もっと輝ける埼玉へ。働き方改革に積極的に取り組む企業を応援する制度。それが埼玉県 多様な働き方実践企業認定制度です。」

「令和7年度、制度がリニューアルされ、認定区分が2段階になりました。」

「まず、5つの認定項目のうち2つ以上に該当すれば『多様な働き方実践企業』として認定されます。さらに、5つのうち4項目以上を満たし、実績が主となるプライム企業認定要件もクリアすれば、最上位の『プライム企業』として認定されます。」

「『プライム企業』は、働き方改革に積極的に取り組む『多様な働き方実践企業』の中でも一歩先を行く、モデル的な企業といえます。」

「より目指しやすく、分かりやすくなったこの制度。認定企業になることで得られる、3つのメリットを『プライム企業』の皆様のコメントと併せてご紹介します。」

「メリットの1つ目は、『認知拡大と採用力の強化』。

「県からの認定証や、のぼりなどの認定グッズの活用により、企業のブランド価値を向上。さらに、県のホームページでの発信が、働きやすさを広く可視化します。」

「求職者からの信頼を高め、応募の増加につなげます。」

### 【大和リース株式会社社員コメント】(1:40)

「採用活動の上で、学校に訪問する際に、「大和リースさんはこういう社員に優しい会社なんだな」と感じ取ってもらえているっていうのはありますね。」

### 【丸越運輸株式会社社長コメント】(1:54)

「認定を受ける前から、(働きやすさ)は取り組んでいましたので、ますます採用につながっていくのではないかなというふうに期待していますので、企業文化になる1つのツールになってくれればいいなと思います。」

### 【柴田科学株式会社社員コメント】(2:12)

「柴田科学という会社自身をPRできる。全く違う業界の方や一般の方も含めて、こういった会社があるんだなということを知ってもらえる機会というか、そういった意味では認定をいただいて、ありがたいなというふうに思っています。」

### 【ナレーション】(2:30)

「2つ目は、『従業員のモチベーションと定着率の向上』。

「県から提供される研修などの情報による人材育成や、県内金融機関による金利優遇といった「従業員限定特別プラン」の提供。さらに、自分が働く会社が「多様な働き方の実践」

に取り組んでいると従業員が理解することで、モチベーションの向上につながります。」

**【廣橋工業株式会社社員コメント】（3：00）**

「率直に大変誇りに思っていますね。会社に見えるところに楯も置いてありますので、日々会社に戻ればその楯を目にしてから事務所のほうで作業をしたりはしていますので、とても誇りに思っていますね。」

**【イーストメディカルクリニック社員コメント】（3：21）**

「女性が活躍できる職場を作り上げられているのは、クリニックとして間違っていないかなと思います。長く働いてくれる方が増えればもちろん会社としてもありがたいですし、うちで働きたいというような方々が増えてもらえるような取り組みは、新たに取り入れながら、楽しい職場を作りたいかなと思います。」

**【株式会社プリケン代表取締役社長コメント】（3：44）**

「やっぱり会社を良くしたいという中で言えば、こういった申請制度というのをぜひ取り組んでいきたいというそんな思いもありましたし、私自身も改めて取って良かったなど、自分の会社を見つめ直す機会にもなりましたし、社員の人たちも自分の働いている会社、いい会社なんだなということを思っていただけきっかけになったんじゃないかなと思いますね。」

**【ナレーション】（4：11）**

「3つ目は、『経営を有利にする優遇制度』。

『『県競争入札参加資格審査時の加点』をはじめ、低利での『中小企業制度融資』の利用、さらに企業が負担する従業員の『奨学金返還支援の補助金』への補助率拡大など、経営を直接サポートする制度が充実しています。』

**【廣橋工業株式会社代表取締役社長コメント】（4：37）**

「地域、行政の仕事なんですけれども、川口市を中心として、活動はしております。認定を受けたことで、埼玉県の入札時の加点になるってことですね。仕事をいただいている企業の方々、また金融機関、信頼を置いていただけるように、証しみたいなのは、必要になるなと思っていますので、今後もずっと続けていきたいなと思っています。」

**【ナレーション】（5：12）**

「このように、多様な働き方実践企業の認定を取得することは、求職者へ働きやすい職場であることをアピールできるほか、従業員のモチベーション向上にもつながります。埼玉県は、働き方改革に本気で取り組む企業を全力で応援しています。時代に、そして働く人に選ばれ

る企業へ。」

「認定企業として、新しい一歩を踏み出しませんか。」